

もうすぐ大相撲名古屋場所が始まる。街中で、浴衣姿の力士を見かけることもある。この光景は、この地方における夏の風物詩のひとつとも言えるだろう。

さて、日本から遠い西アフリカの国、セネガルにも相撲があるということを知った。皆さんはご存知だろうか。数年前、あるお笑い芸人が番組内でセネガルを訪れ、現地のアマチュア・レスラーと対戦したこともあるが、日本ではあまり知られていない。

西アフリカ・セネガルの相撲

同士の試合時間には、テレビ観戦するために街中から人が消えたり、ひいきの選手をめぐって、ケンカが勃発したりすることもある。もともとはセネガルや隣国ガンビアの農耕民の村落で、収穫後の祭りの一環としておこなわれていたものだ。日本の相撲も、農作物の収穫を占う儀式として古来はおこなわれていたことを考えると、近いものがあるだろう。

セネガル相撲では、必ずマラブー（イスラームの指導者）がレスラーにつき添う。また彼らは、体にグリグリと呼ばれるお守りを巻き付け、試合開始前には、「まじない」がかけられた

プロの人気レスラーになると、スポンサーが付き、ファイトマネーも莫大（ばくだい）な金額となる。そんな彼らに憧れ、レスラーを目指す人も少なくない。実際のところ、セネガルでは仕事がない若者が多い。そのため日中から広場には、筋力トレーニングに励む若者であふれている。地方村で出会った一人の男性が、筆者に言った。「仕事がないから、毎日鍛えるしかないんだよ。相撲で有名になつて家族を養いたい」

対戦よりも

踊りがメイン

日本と同様、セネガルでも相撲は「国技」ともいえるもので、とても人気のあるスポーツだ。トップ選手



淑野 淑 徳大 学助 教 野 菅 淑 野 菅 淑 野 菅

白い液体を身体に振りかけ、こう書く呪術的だと感じるかもしれないが、日本の相撲でも清めの塩を撒いたり、力水をつけたりするのだから、驚くことではない。

何よりセネガル相撲で必須なのが、太鼓の生演奏と踊りだ。レスラーにはセネガル伝統の太鼓を演奏する太鼓隊が帯同し、その演奏で踊りながら入場する。無

論、対戦がメインではあるが、その前の踊りも大きな

鍛錬を続けているのだ。

千金を目指し、若者は日々

体を鍛える。レスラーも、

憧れのスター選手であり続

けるために、踊りも含め、

かんのしゆく 文化人類学、
アフリカ地域研究、名古屋大学
大学院文学研究科博士課程単位
取得後満期退学。1982年生
まれ。